

授業科目名： 地誌 I	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2単位	担当教員名： 加賀 大学 担当形態： 単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
科目	教科及び教科の指導に関する科目(高等学校 地理歴史)		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項 ・地誌		
「学位授与の方針」との関係			
DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる(専門知) DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる(実践力)			
授業のテーマ及び到達目標			
系統地理学と並んで地理学を構成する二大分野の一つである地誌学の基本の理解を目指す。 地誌学の方法論の基礎を修得し、各地域の地誌の具体的な取り扱い例を理解する。			
授業の概要			
(1)地誌学の視点と方法論についての基本を学ぶ。 (2)日本と世界のいくつかの地域の地誌を異なったアプローチを通して理解する。 (3)具体的な地域の地誌的考察を通して、現代世界の抱える課題について理解する。			
授業計画			
第1回:地誌学とは何か 第2回:京都を歩くー地誌学事始め 第3回:調査の方法ー準備、道具、心構え 第4回:地図の見方・使い方 第5回:地域の描き方ー地誌へのアプローチ 第6回:都市の個性、京都府宇治市と鉱工業都市日立市 第7回:川崎市旧大師河原村(沿岸域をめぐる環境史)・津軽平野(自然環境と人びとの生業) 第8回:石見銀山(世界遺産を地誌する)・有珠山周辺(火山と共に生きる) 第9回:ナイル川(河川と共に生きる人々) 第10回:フランス(ワインと地域の個性) 第11回:オランダ(国土開発の歴史と地誌) 第12回:シリコンバレー(産業集積の地誌) 第13回:アジア(大都市の発展と環境問題) 第14回:ブラジル(自然環境の開発史) 第15回:ニューオーリンズ(自然災害と地誌) 科目修得試験			
スクーリングでの学修			
第1回～第8回のポイントをまとめた内容を取り上げ、第9回～第15回については、世界各地域の動態地誌的考察を通して、地誌学の方法論の基本への理解を深める。			
テキスト			
上杉和央・小野映介編 2023年『みわたす・つなげる地誌学』古今書院 978-4-7722-8122-5			
参考書・参考資料等			
『新詳高等地図』等高等学校で使用する地図帳			
学生に対する評価			
スクーリング評価(25%)、レポート評価(25%)、科目修得試験(50%)			